

## 【ハイチ報告書 2012年6月24日～6月29日】

2012年6月24日(日)

14:00 ハイチ空港到着

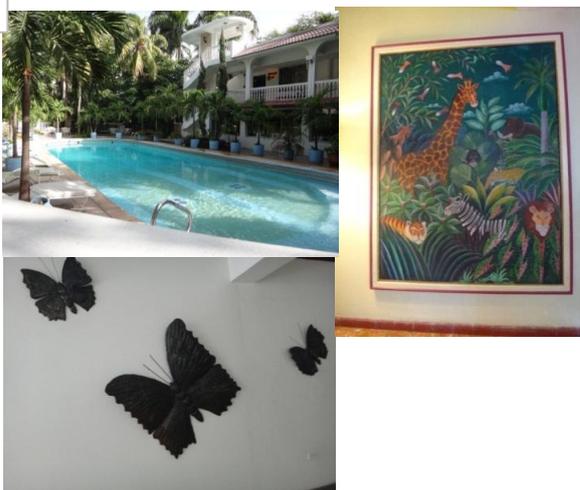


空港に到着すると一番に聞こえてくるのは軽快な音楽。  
“ようこそ”と温かく迎えてくれるハイチの風を感じました。

14:30 プラザホテル到着



オアシスのような空間に驚きます。  
ホテルの壁には、素敵なアート作品が展示  
されています。



14:40 プラザホテルにて、ミーティング



皆でこれからの日程について打ち合わせ中。  
長時間の移動で少々疲れ気味です・・・

18:00 プラザホテルにて、ミーティング・夕食



プラザホテルでは、日曜日の夜は、バイキング。  
それぞれに、好きなものを美味しく頂きました。

2012年6月25日(月)



・明日のランプ法セレモニーについて確認・打ち合わせ  
・プロジェクト終了後、今後は、Dr.ドメザ氏が4つのランプ機を管理をして下さるとのこと。よろしくお願いします。

### 11:00 ポルトープランス結核療養所



ランプ機がきちんと使用されているか現状を視察。真剣な眼差しで一つ一つ確認するDr.森氏、角氏。



13:00 レストランにてミーティング・昼食



ハイチのランチョウマットは実に色鮮やかです。



レストランの壁には、素敵なアートがたくさん飾られていました。温かみのある絵に心が和みます。



トイレに入ろうとしたら・・・とても怖そうな犬が昼寝中。  
起こさないようにおそるおそる・・・

冷や汗をかいた昼下がりです。。

### 14:30 須藤シスターと会う



体調が悪い中、私達を笑顔で迎えてくれた須藤シスター。お会いすることが出来て本当に良かったです。



シスターの部屋には、東日本大震災についての本が..

遠く離れたハイチからも東北のことを気にかけて下さっているシスターの優しさに触れました。



須藤シスターのおかげで、私たちはハイチという国で活動を始めることが出来ました。

シスターの思いを引き継いで、ここにたくさんの仲間が集まっています。これからも私たちはハイチ支援を続けていきます。

日本リザルツ スタッフ一同



### 19:00 レストランにて、ミーティング・夕食



魚が美味しいと評判のレストランにて本日の反省会・明日の日程について打ち合わせ...

2012年6月26日(火)



ハイチの保健省事務次官のガブリエル・ティモテ氏、保健省結核部所長のDr.ドメザ氏がハイチ日本国大使館の南健太郎大使。



たくさんの報道記者がかけつけました。



東日本大震災の折には、ハイチの多くの方々に温かいご支援をして頂いたことへの感謝の気持ちを伝えました。



Dr.森氏による発表



Dr.角氏による発表



栄研化学の森氏によるランプ機 実演発表。

今後も多くの方に「結核」について知って頂きたいと思います。

結核の早期発見に向けて、効果的な「ランプ法」が広まり、一人でも多くの患者さんが救われることを願います。

12:00 ランプ法セレモニー終了



本日の会場の  
モンタニヤホテル  
です。

高台にあるホテル  
だけあって、下にあ  
る街が一望できま  
す。

花に溢れた素敵  
なホテルでした。



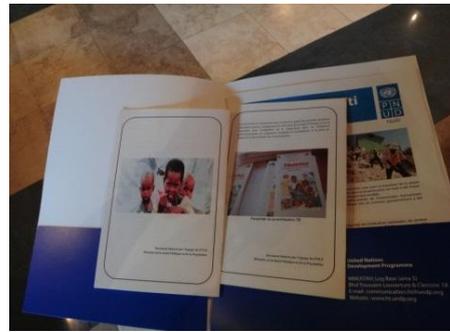
セレモニー終了後、皆で記念撮影。



かわいいカエルの像を発見。



15:00 カクテルパーティー



「ランプ法」について一人でも多くの方に知ってもらう為に、「ランプ機」について熱心に説明する栄研化学の森氏と白須事務局長。

18:00 プラザホテルにてミーティング・夕食



本日のプラザホテルのレストランでは、ミュージシャンによる生演奏が。「上を向いて歩こう」をリクエストをして、熱唱するDr.角氏。

2012年6月27日(水)

10:00 在ハイチ日本国大使館訪問



南健太郎大使と今後のハイチでの結核予防対策支援について意見交換をしました。

南大使による“日本人は約束するまでに時間がかかるが、約束したことは、きっちり守る民族である”という言葉に一同深くうなずきました。

11:00 市内視察 ①



2010年1月12日のハイチ大地震から約2年半。

町は少しずつ復旧に向かいつつありますが、

まだまだ地震の爪痕は、あちらこちらに残っています。

車を降りたとたん、手を出し、物乞いするお年寄りや子どもの姿にいたたまれなくなり、その場を立ち去りました。



## 11:30 市内視察②



## 12:30 レストランにて、ミーティング・昼食



現地ドライバーの行きつけのレストランにて、昼食をとりました。

食事をしていると、次々と窓際に子ども達が集まります。

指をくわえて、“ちょうだい、ちょうだい”とアピールをします。

ドライバーが残飯を分けにいくと、“やった！”というように喜んで食べる子ども達。

同じ人間なのに、食べ残す側と残飯を食べる側がいることを直に感じました。

日本は、飽食です。いつか、ハイチの子ども達が手を出して物乞いする方法ではなく、自分たちで食べ物を得て過ごす日が来てほしい・・・そんなことを感じました。

14:00 クロアデブーケにある結核クリニック



検査方法についての改善点や留意点を一つ一つ確認し、一生懸命伝えるDr.角氏、森氏、吉田さん。



ベンチに横たわる患者さん。

一人でも、多くの患者さんが救われる日が来るように。

確実なランブ法の普及と治療に向けて引き続き、支援が必要です。



15:00 シスターズハウス 訪問



優しいシスター達と、かわいらしい猫が迎えてくれました。



たくさんの花や草木に溢れた環境に癒されました。

心地よい時間をありがとうございます。

これまでお世話になったお礼を込めてメモリアルノートへスタッフ一同名前を綴りました。

18:00 ミーティング・夕食



アート作品を売る露天商。

レストランにて、偶然、日本大使館の方々とお会いしました。

6月28日(木)  
10:00 シグノー結核療養所



ランプ機の保管方法について説明。



11:00 ポルトープランス結核療養所



ランプ機の保管方法について説明。



13:30 グレース小児病院



ランプ機の保管方法について説明。



14:30 子どもたちと鶴づくり



グレース子ども病院の子どもたちと一緒に色紙で鶴作りをしました。



18:00 プラザホテルにてミーティング・夕食



プラザホテルー押しメニュー  
ベジタブルピザ。

6月29日(金)

8:30 ミーティング・七夕飾り作り



プラザホテルチェックアウトの朝。お世話になったホテルの皆さんへ七夕飾りのプレゼント。短冊をホテルの木につるしました。

26日のランブ法セレモニーの様子が、新聞記事に掲載⇒



10:00 Dr.ドメザ氏と最終ミーティング



Dr.ドメザ氏へ贈り物。  
“結核のない世界へ”と願いを込めて書いた短冊を飾ります。



14:00 ハイチ空港出発



【ハイチの風景】

